※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０３

令和５年度　芸術科「音楽」

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「ＯＮ！２」　改訂版（音楽之友社）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌唱」「器楽演奏」「音楽鑑賞」の３つの分野を年間通して学習します。
・「歌唱」では、発声の基礎を学び、1 学期間で合唱曲（混声三部・四部）を 1 曲完成させます。
・「器楽」では、ギターや鍵盤楽器を用いて行います。2 学期は伝統楽器「箏」を演奏します。
・「鑑賞」では、諸外国の音楽、日本の伝統音楽、現代音楽など、様々な音楽を鑑賞します。

２　学習の到達目標

１．曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに，創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
２．自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや，音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
３．主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，音楽文化に親しみ，音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	イメージをもって豊かな声で歌いあげよう	【歌唱】 上を向いて歩こう 風になりたい	a:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	3部合唱を歌いあげよう	【歌唱】 合唱曲 「ほらね」 混声3部合唱	a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	ギター弾き語りに挑戦しよう	【器楽】 「栄光の架橋」 弾き語り	a:弾き語りするために必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。 b:旋律と和音の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、表現を工夫している。 c:ギターの基礎的な奏法の特徴に関心をもち、弾き語りで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	バレエ音楽を鑑賞しよう	【鑑賞】 バレエ音楽 「春の祭典」	b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。		観察 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	3部合唱を歌いあげよう	【歌唱】 合唱曲 「きみ歌えよ」 混声4部合唱	a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	箏曲2重奏に挑戦しよう	【器楽】 紅葉 2重奏	a:箏の音色や奏法の特徴を生かした技能を身に付け、創造的に表している。 b:音色やリズム、ハーモニーなど音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:箏の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	リコーダー演奏を楽しもう	【器楽】 「Ｙｅｓｔｅｒｄａｙ Once More」 2重奏	a:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:リズムの特徴や反復、変化を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	旋律をつくろう！	【創作】 「交響曲　第９番」第4楽章(ベートーヴェン)の旋律を例に、旋律を創作	a:イメージに沿った旋律やリズムの組み合わせ方、記譜の仕方など必要な創作技能を身に付け、創造的に表している。 b:題材となる音楽の特徴を知覚し、その醸し出す雰囲気を感受しながら、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:題材となる音楽の特徴に関心をもち、イメージをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表

※令和４年度以降入学生用

3学期	合奏を楽しもう	【器楽】 「アンダーザシー」 リコーダー 木琴 2重奏	a:リズム譜を読譜し、表現したいことを伝えるための技能を身に付けている。 b:それぞれの楽器の音色や特徴を知覚し、その働きを感受しながら、表現したい音楽をイメージして、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 c:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	3部合唱を歌いあげよう	【歌唱】 合唱曲 「大地讃頌」 混声四部合唱	a:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景と関わらせて感じ取り、イメージをもって合唱するために必要な歌唱の技能（発声、言葉の発音、呼吸法、姿勢や身体の使い方）を身に付け、協力し合い創造的に表している。 b:旋律、ハーモニーを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表	観察 ワークシート 実技練習 演奏発表
	オペラ音楽を鑑賞しよう	【鑑賞】 オペラ 「カルメン」	b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 c:管弦楽で扱われる楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	観察 ワークシート	観察 ワークシート	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度